

2024年11月20日

各位

三井住友トラストグループ株式会社
三井住友信託銀行株式会社

LGBTQへの取組評価「PRIDE指標」において、最高評価「ゴールド」を受賞

三井住友トラストグループ株式会社(取締役執行役社長(CEO):高倉 透、以下「当社」)は、11月14日、一般社団法人 work with Pride(※1)が策定した「PRIDE 指標」において、最高評価の「ゴールド」を受賞しました。また、三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「三井住友信託銀行」)は、セクターを超えた協働を推進する企業・団体を評価する「レインボー(※2)」も同時受賞しましたのでお知らせいたします。



1. 「PRIDE 指標」とは

LGBTQ+などの性的マイノリティが働きやすい職場づくりを日本で実現するため、work with Pride が2016年に策定した日本で初めてとなる LGBTQ+に関する企業・団体等の取り組みの評価指標です。Policy(行動宣言)、Representation(当事者コミュニティ)、Inspiration(啓発活動)、Development(人事制度・プログラム)、Engagement/Empowerment(社会貢献・渉外活動)の5つの指標で構成されており、各指標内で指定の要件を満たしていれば点数が付与され、点数により、ゴールド、シルバー、ブロンズとして企業・団体が認定されます。

2. 2024年度の受賞結果

- (1) 三井住友トラストグループ内企業が複数(※3)連名で「ゴールド」受賞
- (2) 三井住友信託銀行単体での「ゴールド」および「レインボー」受賞(2021年から4年連続での同時受賞)

3. 主な取り組み

三井住友トラストグループでは、「個々人の多様性と創造性を経営に活かす」というダイバーシティ、エクイティ&インクルージョンの概念そのものを、ミッション(経営理念)として有しています。また、性的指向・性自認を理由とした差別や人権侵害を行わないことを人権方針の一つとして明示しています。社内では相談窓口の設置や研修を通じた啓発活動などに継続して取り組んでおり、社外では地方自治体やLGBTQ(※4)支援団体、企業と協働した、地域単位での活動を進めております。

今年度は「東京レインボープライド 2024」をはじめ、全国各地(札幌、山口、和歌山、大阪、福岡)のプライドイベントへの協賛のほか、「町田レインボーミーティング」の定期開催などが、評価につな

がりました。これからも、互いに尊重し合いながら、誰もが働きやすい職場・環境づくりに尽力してまいります。

(※1) 一般社団法人work with Prideは、企業などの団体におけるLGBTQ+など性的マイノリティに関するダイバーシティ・マネジメントの促進と定着を支援する団体です。年に一回、企業・団体の人事・人権・ダイバーシティ担当者を主な対象に、LGBTQ+に関するカンファレンスの開催や、『PRIDE 指標』の運用等を行っています。

<https://workwithpride.jp/>

(※2) 「レインボー」認定は、LGBTQ+など性的マイノリティが自分らしく働ける職場・社会づくりの実現に向け、自社単独の取り組みでできる範囲を超えて、国・自治体・学術機関・NPO/NGO などとの、セクターを超えた協働を推進する企業・団体を評価する指標です。

(※3) 三井住友トラストグループ株式会社、三井住友信託銀行株式会社、三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社、三井住友トラスト・ビジネスサービス株式会社、日興アセットマネジメント株式会社、三井住友トラスト・カード株式会社、三井住友トラストクラブ株式会社、三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社、株式会社日本カストディ銀行、三井住友トラスト総合サービス株式会社。

(※4) 当社ではLGBTQ+など性的マイノリティの表記を「LGBTQ」に統一しています。

以上